

北総モラールアップ通信

チーム北総 思いを伝えるチーム ～和・輪・話～



千葉県創立150周年記念ロゴ

11月に入り、朝晩の冷え込みが気になる季節となりました。卯年も残り1か月となりましたが、皆さんにとって良い年になったでしょうか。

各学校では、コロナ禍以前の生活にもどりつつ工夫しながら教育活動を進めていることと思います。しかし、千葉県内において、インフルエンザの流行が拡大しており、予断を許さない状況が続いておりますので、引き続き感染防止対策を講じつつ、充実した教育活動が展開できるよう、よろしくお願いいたします。

令和5年11月15日教育委員会会議で、大変残念なことに更なる教職員の懲戒処分がありました。これまでも職員の綱紀の粛正については、強く要請してきたところですが、教職員の不祥事が後を絶ちません。今年度（11月末現在）の懲戒処分件数は、監督責任9件を除いて23件となってしまいました。

今後このような不祥事が二度と起こることがないように、改めて教職員一人ひとりが教育公務員としての自覚をもって法令遵守の一層の徹底を図っていただくとともに、引き続き、不祥事根絶に向けて学校としての取組をお願いします。特に、「管理職への速やかな連絡」は、学校における様々な事故の未然防止と適切な対処を行う上で必要不可欠です。「特別な事情が発生した場合は、職員個人で判断せず、速やかな管理職への報告・連絡・相談をすること」の重要性の再確認と徹底を図るようお願いします。

今月のテーマ「心の健康を保とう！」

チーム北総 今年度のキーワードは、

トリプル ☆ CHANCE CHANGE CHALLENGE

ピンチをチャンスに アフターコロナの教育活動に向けてチェンジ

安全・安心で信頼される学校づくりにさらにチャレンジ

5月26日から11月16日までの期間で北総管内231校の学校訪問が終了しました。訪問に際し、授業準備、環境整備、書類の点検等で大変お世話になりました。

学校訪問を終えて、各校での「働き方改革の取組」を確認させていただきました。「学校における働き方改革推進プラン」が改訂されて3年目を迎えています。よりよい教育を行うには、先生方が健康かつ、元気であることが必要です。そのためには、心身に悪影響を及ぼす長時間労働を削減することは、非常に重要だと考えます。

そこで、中央教育審議会が令和5年8月28日に提言した「教師を取り巻く環境整備について緊急的に取り組むべき施策」から取組の具体策を確認します。

1 学校・教師が担う業務の適正化の一層の推進

(1) 「学校・教師が担う業務に係る3分類」を徹底するための取組 ※考えられる対応策の例(案)

【基本的には学校以外が担うべき業務】

①登下校に関する対応

- ※学校運営協議会等での協議等を踏まえた、地域学校協働活動の一環としての登下校の見守り活動の実施
- ※保護者や地域住民の理解を得つつ、例えば開門は登校時間の直前とするなど、朝の時間帯の学校の業務負担の軽減について検討

②放課後から夜間などにおける見回り、児童生徒が補導された時の対応

- ※放課後から夜間の留守番電話の設置

③学校徴収金の徴収・管理

④地域ボランティアとの連絡調整

- ※学校運営協議会等を活用した地域の理解促進のための取組を推進

【学校の業務だが、必ずしも教師が担う必要のない業務】

⑤調査・統計等への回答等

- ※公的な機関の業務上の必要性に基づく調査と、それ以外の任意の調査について精査し、任意調査については、学校にとって有益なフィードバックが期待されないような場合は回答を控えるなど、調査・統計等への業務を縮減

⑥児童生徒の休み時間における対応

※教師の裁量ある時間や適正な休憩時間を確保するための教員業務支援員の活用や、休み時間対応の輪番制の検討

⑦校内清掃

※教師の裁量ある時間や適正な休憩時間を確保するための清掃指導の輪番制や教員業務支援員の活用等の検討

※清掃を隔日で実施する等の日課表の見直し

⑧部活動

※部活動の適切な運営のための体制を整備するほか、部活動改革の取組への協力・協働

【教師の業務だが、負担軽減が可能な業務】

⑨給食時の対応

⑩授業準備

※令和5年度において標準授業時数を大幅に上回って教育課程を編成している場合には、令和6年度以降の教育課程編成において見直すことを前提に点検を行い、指導体制の充実や教育課程の編成の工夫等により、指導体制に見合った計画とする

⑪学習評価や成績処理

※採点業務の補助については教員業務支援員等と積極的に連携するほか、採点ソフトや校務支援システム等のICTツールを一層活用

⑫学校行事の準備・運営

※コロナ禍以前の姿に戻るのではなく、それぞれの教育的意義を改めて捉え直したうえで、真に必要な活動を中心にその在り方を検討、実施

⑬進路指導

※進路希望調査のWEBアンケート化

⑭支援が必要な児童生徒・家庭への対応

(2) 各学校における授業時数や学校行事の在り方の見直し

- ・全ての学校で授業時数について点検し、特に、**標準授業時数を大幅に上回って**（年間1,086単位時間以上）**いる学校は、見直すことを前提に点検**を行い、指導体制に見合った計画に見直し
- ・**学校行事**について、**精選・重点化、準備の簡素化・省力化**

(3) ICTの活用による校務効率化の推進

- ・学校保護者間の連絡手段のデジタル化など ICT の更なる活用、生成 AI の校務への活用の推進

文部科学省では、学校における働き方改革の優良事例を横展開し、学校現場による自主的な取組促進に当たっての一助とすべく、事例集の作成や取組例の周知等を図っています。

※ 令和5年3月に改訂した事例集では、働き方改革に取り組むドキュメンタリー映像や約150の事例等に加え、働き方改革チェックシートや事務職員による働き方改革に焦点を当てた特集を追加。



全国の学校における
働き方改革事例集
(令和5年3月改訂版)



★コンゼツ・ノ・ヒント★ ～学校訪問で目にした「ナイス・トリクミ」紹介～

不祥事を起こす要因として、「不正のトライアングル」というものがあります。不正行為は、

①動機・プレッシャー ②機会 ③姿勢・正当化

の3つがそろったときに発生するというものです。これらの要因を増加させるものとして「心身の疲れ」は大きな要因の一つです。

ここでは、訪問で目にした「働き方改革の取組」を紹介します。

【平日年休取得プロジェクト】

一日出張ととらえて、平日に年休を取得し、趣味や家族のために使うことを推奨する

【学年退勤日の設定】

個々ではなかなか宣言しにくい「定時退勤宣言」を学年で設定し、そろって定時退勤をする。

【ペーパーレス化の推進】

職員会議要項、学校から発信するお便り、安全点検簿、長期休業のしおり etc…